

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和 6 年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月28日

団体名 岡崎大学懇話会

代表者 牧山 助友

構成員 14 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

加盟大学の特色を生かした地域活性化のための教育・研究活動及び産・学・官・民の連携と協調活動の推進を通して、岡崎市を中心とした三河地域の産業及び文化の発展に貢献することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは？	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
R6.11/30	人間環境大学	来場者	95 人	第24回 学生フォーラム
R7.3/1	図書館交流 プラザリぶら	来場者	17 人	第24回 地域活性化フォーラム

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。＜ex.自然環境＞

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

- ・市内 7 大学の学生が行った地域と結びついた活動とその成果について周知できた。
- ・岡崎市、NPO 法人 21 世紀を創る会・みかわの支援により、「岡崎における産学官共同研究」の成果発表を開催。岡崎市及び地域活性につながる活動となった。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 (4) 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

市内を中心とした地域における産学官協調活動により、地場産業・地域文化の発展に寄与することができたため。また、市長のメッセージを届けることができたため。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。